

2 用語解説

語 句	意 味
COP10	生物多様性条約第 10 回締約国会議。多様な生きものや生息・生育環境を守り、その恵みを将来にわたって利用する「生物多様性条約」を結んでいる国々による会議で、2010 年 10 月に愛知県名古屋市で開催された。
愛知目標	COP10 で採択された目標。2050 年までの長期目標（Vision）として「自然と共生する世界」の実現、2020 年までの短期目標（Mission）として「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」ことを掲げている。
インバウンド	Inbound は、「本国行きの」「市内に向かう」の意味。そこから変じて、外国人の訪日旅行をいう。
エコツーリズム	地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながっていくことを目指す仕組み。エコツアーは、エコツーリズムの考え方に基づいて実践されるツアーの一形態のこと。 東京都では、適正な利用のルールに基づいて、貴重な自然を守りながら、観光利用を図る「東京都版エコツーリズム」を進めており、2003 年（平成 15 年）4 月から小笠原諸島で、また、2004 年（平成 16 年）4 月から御蔵島でのエコツーリズムを開始した。
海食崖	海に面した陸地で、波の侵食作用によって岩石が削られて形成された急な崖のこと。
外来種	人為によって意図的・非意図的に本来の生息地・生育地の外から持ち込まれた種のこと。
火山地形	火山活動によって形成された地形。山岳部だけでなく海岸や海底にも見られる。火山活動にはマグマの性質により様々なタイプがあり、それぞれ異なった地形が生まれる。日本の自然風景地の多くは火山地形に位置し、火山地形が景観の基調をなしている。
環境教育	人間と環境との関わりについて理解と認識を深め、責任ある行動が取れるよう国民の学習を推進すること。
関東ふれあいの道	環境省が計画する長距離自然歩道の一つ。関東地方の一都六県を一周し、総延長は約 1,800km。東京都八王子梅の木平を起終点に、高尾山、奥多摩、秩父、妙義山、太平山、筑波山、霞ヶ浦、九十九里浜、房総、三浦半島、丹沢などを結んでいる。美しい自然を楽しむばかりでなく田園風景、歴史や文化遺産にふれあうことができる。より多くの人々が利用できるよう 10km 前後に区切った日帰りコースを 160 コース設定している。 都内には高尾から奥多摩までの延長約 74.4km、7 コースを設定している。
岩脈	垂直に近い板状貫入岩体（貫入岩は地下深部で発生したマグマが地殻内の深さに上昇し固結した岩のこと）。直立していないものは岩床という。岩脈は普通、幅 1～数十 m、長さ数百 m 以下が多いが、100km を超えるものもある。
希少種	一般に、数が少なく簡単に見ることが出来ないような（まれにしか見ることが出来ない）種のこと。 種の保存法（絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律）では、国内に生息・生育する絶滅のおそれのある野生生物のうち、人為的な影響により減少が見られる種等を「国内希少野生動植物種」に指定している。
キャニオニング	キャニオン（渓谷）で遊ぶフランス発祥のスポーツのことで、ヨーロッパでは古くから親しまれている。沢によっては、ロープを使って懸垂下降やクライミングの要素など様々な手法を取り入れて渓谷を下る。
丘陵	標高 200～300 m 程度の起伏の少ない丘のことを指す。東京都には狭山丘陵、霞丘陵、草花丘陵、加住丘陵、多摩丘陵といった丘陵があり、優れた眺望を形成している。
近郊緑地保全区域	首都圏近郊緑地保全法で定める区域。近郊緑地とは、首都圏の近郊整備地帯の緑地であって、樹林地、水辺地等が一体となって良好な自然の環境を形成し、かつ、相当規模の広さを有しているもの。 国土交通大臣は、近郊緑地のうち、無秩序な市街化のおそれが大であり、かつ、これを保全することによって得られる首都及びその周辺の地域の住民の健全な心身の保持及び増進又はこれらの地域における公害若しくは災害の防止の効果が著しい近郊緑地の土地の区域を、「近郊緑地保全区域」に指定することができる。

語 句

意 味

国立公園満喫プロジェクト	環境省が「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき推進しているプロジェクト。8箇所の国立公園で「国立公園ステップアッププログラム2020」を策定し、訪日外国人を惹きつける取組を計画的、集中的に実施している。 政府全体で、2020年の訪日外国人旅行者数を4,000万人とする「明日の日本を支える観光ビジョン」の施策に取り組んでおり、この観光ビジョンの10の施策の一つとして、国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化を目指している。
固有種、固有亜種	特定の限られた地域だけに生息する生物種又は亜種のこと。
サポートレンジャー	東京の貴重で豊かな自然を守るため、不法行為の防止や利用マナーの向上に取り組む東京都レンジャーをサポートする都民のこと。2017年（平成29年）5月現在、高尾と奥多摩で活動している。
三位一体改革	補助金の廃止・縮減、国から地方への税源移譲、地方交付税改革を一体で行い、国と地方の税財政関係を改革すること。
山岳信仰	山岳に宗教的意味を与えて、霊山として崇拝すること。
ジオパーク	地球科学的に価値の高い地質・地形のある自然遺産を保護・保全し、教育や防災活動、ジオツーリズムなどに活用し、地域の持続可能な開発を目指すもの。ユネスコが認定するものをユネスコグローバルジオパークという。国内では、日本ジオパークネットワークが認定する日本ジオパークが2016年9月現在43地域あり、そのうち8地域がユネスコグローバルジオパークに認定されている。
自然公園ボランティア	東京都及びビジターセンター解説員との協力、連携の下に活動を行う登録制のボランティアのこと。
ジビエ	狩猟によって捕獲された野生鳥獣やその食肉。狩猟肉ともいう。
首都圏近郊緑地保全区域	「近郊緑地保全区域」を参照のこと。
食害	鳥獣や虫が、動植物を食い荒らすこと。農作物への被害だけでなく、生活環境や生態系への被害も問題となっている。
針広混交林（化）	針広混交林は針葉樹人工林に広葉樹を交えた森林。針広混交林化とは、森林はもともと多様な生物種で構成されているので、本来の自然生態系に倣って針葉樹人工林を多様な種で構成される混交林に戻そうとすること。
新住宅市街地開発事業	新住宅市街地開発法に定める事業で、人口集中が著しい市街地の周辺地域で、健全な住宅市街地の開発や居住環境の良好な住宅地の大規模供給を図る事業のこと。 多摩ニュータウン、千里ニュータウン（大阪府）がこれにより整備された。
森林セラピー	癒やし効果が科学的に検証された森林浴効果のこと。
水道水源林	多摩川水源域の安定した河川流量の確保と、小河内貯水池の保全を図るため、多摩川上流に東京都水道局が所有し管理している森林で、面積は約23,000haである。
生態系	食物連鎖などの生物間の相互関係と、生物とそれを取り巻く無機的環境（水、大気、光など）の間の相互関係を総合的に捉えた生物社会のまとまりのことを示す概念。生態系には、広大な森林から小さな池まで様々な大きさのものが、時として地球全体を一つの生態系と見ることもある。
生態系サービス	生物多様性を基盤とする生態系から得られ、人間の暮らしを支える、食料や水の供給、気候の安定などの機能（恵み）のこと。 国連の主導で行われた「ミレニアム生態系評価（MA）」では、生態系サービスを「供給サービス」「調整サービス」「文化的サービス」「基盤サービス」の4つに分類している。
生物群集	特定の地域に生息・生育している全ての生物の集まりのこと。
生物相	特定の地域に生息・生育する生物の種類組成のこと。種名などを記した種のリストで表されることが多い。
生物多様性	遺伝子・生物種・生態系それぞれのレベルでの生物の多様性のこと。 生命の豊かさを包括的に表す広い概念で、その保全は、食料や薬品などの生物資源にとどまらず、広く人間に不可欠な生存基盤としても重要である。

語 句

意 味

生物多様性条約	地球規模で生物多様性の保全を目指す国際条約。1992年5月に採択され、生物多様性の保全だけでなく、様々な自然資源の「持続可能な利用」を明記している。生物多様性条約では、生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性の3つのレベルの多様性があるとしている。
世界自然遺産	世界遺産（「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」に基づいて登録された将来世代に引き継いでいくべき資産）には、文化遺産と自然遺産がある。自然遺産に登録されるためには4つの評価基準「地形・地質」「生態系」「自然景観」「生物多様性」のいずれかを満たす必要がある。
多摩産材	一般に、東京都内の多摩地域で生育し、生産された木材をいう。東京の木を使えばその収益が森林に巡り、森林を育てることにつながるため、多摩産材を使うことは、東京の森林の適切な手入れにつながる。
探勝地	優れた自然の風景地や名勝のこと。
地域制緑地	ある一定の区域について、国又は地方公共団体により土地の権原に関係なく指定される緑地で、土地利用の制限や一定行為の禁止又は制限によりその資源や景観等を保全する区域（緑地）のこと。
地種区分	自然公園法に基づき公園内の自然の特性により定める土地の区分で、その地域における規制の基準を定めている。これにより土地の形状変更、工作物の設置、木竹の伐採など自然環境を改変する各種行為が制限される。大きく特別地域と普通地域に分けられ、規制の程度により特別地域は更に特別保護地区と第1種、第2種、第3種特別地域と4段階に分けられている。
鳥獣保護区	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づき、鳥獣の保護の見地から指定される区域。国指定鳥獣保護区と、都道府県指定鳥獣保護区があり、鳥獣保護区の区域内で鳥獣の保護又はその生息地の保護を図るため特に必要があると認められる区域を特別保護地区に指定することができる。鳥獣保護区内においては、狩猟が認められないほか、特別保護地区区内においては、一定の開発行為が規制される。
貯水池林	村山山口貯水池に隣接する森林であり、水道原水の水質確保を目的に土砂流出を防止するなど重要な機能を担っている。
東京都環境基本計画	東京都が環境基本条例に基づき定める、環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画。2016年に定めた新たな計画では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据え、環境政策と経済成長を両立させた「世界一の環境先進都市・東京」の将来像やこれを目指した政策展開を明らかにした。
東京都レンジャー	東京の自然公園では、観光客や登山客等による過剰利用やマナーを守らない不適正な利用、希少な植物の盗掘等の不法行為が見られる。このような課題に対応するため、東京都では自然公園を中心とした地域における自然保護と適正利用の担い手として、都独自のレンジャー制度を創設し、現在多摩地域と小笠原地域で活動している。
特別緑地保全地区	都市緑地法で定める地区。都市計画区域内において、樹林地、草地、水沼地などの地区が単独又は周囲と一体になって、良好な自然環境を形成しているもの。無秩序な市街化の防止や、公害又は災害の防止となるもの、伝統的・文化的意義を有するもの、風致景観が優れているもの、動植物の生育地等となるもののいずれかに該当する緑地が、指定の対象となる。建築行為など一定の行為の制限などにより現状凍結的に保全することで豊かな緑を将来に継承する。
土木遺産	土木学会により認定された歴史的土木構造物。2000年（平成12年）に認定制度が設立され、推薦および一般公募により、年間20件程度が選出されている。
トレイルランニング	トレイルとは登山道や林道などを意味する。場所の高低に関わらず、舗装されていない主に山などの自然の中を走るアウトドアスポーツ。タイムや順位を競い合う競技も存在する。
トレッキング	登山が登頂を目的とするのに対し、山麓などを徒歩で旅行すること。山歩き。
二次林	自然林が伐採や風水害、山火事などにより失われた後に、土中に残った種子や植物体の生長などにより自然に成立した森林のこと。
パークアンドライド	自宅から自分で運転してきた自動車をターミナル周辺に設けられた駐車場に置き、そこから公共交通機関を利用して業務区域や観光地など目的地へ向かうシステムのこと。

語 句

意 味

爆裂火口湖	爆裂火口とは、主として水蒸気爆発により既存の火山体の一部が吹き飛ばされて生じた火口。山体の一部が破壊されて漏斗状の形をするものが多い。火口湖は、火山の噴火口に水をたたえて生じた湖のこと。
ピクトグラム	誰にでも伝わりやすい単純化されたデザインの絵文字等により、情報や注意を表示した視覚記号のこと。
ビジターセンター	自然公園を利用される方に、周辺の自然や歴史、文化を分かりやすく展示解説するとともに、情報提供を行うための施設のこと。施設には、解説員が常駐しており、色々な行事を企画している。公園計画で博物展示施設に位置付けられており、条例に基づき都内に8箇所設置されている。
フットパス	自然や風景、伝統的な町並みなどを楽しみながら歩くことのできる小道を指して使われることが多い。イギリスが発祥の歩行者道の形態で、田園地帯や海外、市街地などの古い小道を利用して、地域の自然や街並みを楽しむコースを設定したもの。
ふるさとと呼べるまち	鈴木都政時代の「マイタウン'81 東京都総合実施計画」では、「安心して住めるまち、いきいきと暮らせるまち、ふるさとと呼べるまち 東京」が目標として掲げられた。この中で、「海のふるさと村（大島町）」と「山のふるさと村（奥多摩町）」の建設が位置づけられた。
ボルダリング	フリークライミングの一種であり、ロープ等の保用具を用いずに、5 m程度までの比較的低い小岩壁を登ること。
枕状溶岩	楕円体又はそれに近い丸みを帯びた塊の集合からなる溶岩（流）。俵状溶岩とも。玄武岩質などの粘性の小さな溶岩流に多く見られる。海底などの水中又は沼地や湿地を流れた溶岩流に特徴的に生ずる。東京都では、小笠原国立公園で見られる。
ミシュラングリーンガイド	フランスのミシュラン社による、各地の魅力を伝える旅行ガイド。豊かな自然や多彩な文化遺産など各地を独自の方法で調査し、旅行者に勧めたい場所を掲載しており、旅行者たちに、訪れる土地をよりよく理解し、充実した旅を楽しめるような情報を提供している。
緑施策の新展開	東京都環境局が2012年（平成24年）5月に公表した計画。生物多様性の危機を背景に、緑施策のこれまでの取組と、生物多様性の視点から強化する将来的な施策の方向性を取りまとめ策定した。
みどり率	緑が地表を覆う部分に公園区域・水面を加えた面積が、地域全体に占める割合のこと。
モニタリング	「監視」の意味。地域の自然環境の状況等について継続的、あるいは定期的に調査を実施すること。モニタリングを行いながらその結果に合わせて対応を変えるフィードバック（順応的管理）が重要となる。
ユニバーサルデザイン	障害者、高齢者、健常者の区別なく、誰もが分け隔てなく「使える」「通える」「住める」ように、商品や施設等の設計、デザインをしようというもの。
裸地	植物や建築物などに覆われておらず、土がむき出しになっている土地のこと。裸地では、降雨による浸食によって表土が失われやすく、砂漠化するおそれがある。
ラフティング	raftは「いかだ」のことで、直訳すると「いかだ下り」。ゴムボートで、激流を下って楽しむアウトドアスポーツを指すことが多い。
ラムサール条約	正式名称は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」。1971年2月にイランのラムサールで採択された。日本は1980年に批准し国内の条約湿地数は50（2017年3月現在）
林相	樹種・樹齢、樹冠や木の生育状態などによる森林の様子・形態のこと。
露頭	表土に覆われずに地表に露出している地層や火成岩体の一部、又は地表に露出している鉱床のこと。
ロングトレイル	登山道やハイキング道、林道、古道などをつなぎ合わせた距離の長い自然歩道。登頂を目的とする登山とは異なり、「歩く旅」を楽しみながら、その地域の自然や歴史、文化に触れることができる。近年になって健康や自然への関心が高まるなかで、自然の中を歩くロングトレイルが注目を集めている。

写真出典

- あきる野市役所観光まちづくり推進課：イメージ図内の神輿（P40）、秋川（P86）
- 一般社団法人 奥多摩観光協会：イメージ図内の奥多摩むかし道（P40）
- 小澤酒造株式会社ホームページ：イメージ図内の澤乃井（P40）
- 気象庁ホームページ：火山の噴火（P32）
- 公益財団法人 東京都公園協会：長沼公園内の雑木林（P79）
- 公益財団法人 東京都島しょ振興公社：第二次産業（食品加工）（P47）
- 里山へGO！ホームページ：ボランティアによる環境教育活動（P30、P55）
- 式根島観光協会：式根島 泊海岸（P7）
- 西武・狭山丘陵パートナーズホームページ：貯水池にある取水塔（P81）
- 多摩市教育委員会：旧多摩聖蹟記念館（P80）
- 田村酒造場ホームページ：イメージ図内の田村酒造場（P40）
- 東京都産業労働局：第一次産業（農業）（P47）
- 東京都港湾局：お台場、東京湾河口（P38）
- 東京都水道局：水道水源林の保全（P24）
- 東京都総務局大島支庁大島公園ホームページ：外来種対策による生態系の保全（大島で繁殖が進むキョン）（P51）
- 東京の観光公式サイトGOTOKYO ホームページ（写真素材集）：大島三原山（P39、P46、P68）、イメージ図内の高尾山薬王院（P40）、豊かな自然の利用（P48）、小澤酒造株式会社（P54）、椿油（P67）
- 新島村役場産業観光課：新島 羽伏浦（P7）
- 羽村市観光協会：浅間岳からの多摩川の眺望（P83）、玉川上水の桜（P84）
- 美里フットパス協会ホームページ：フットパス等の「地域を歩くこと」による魅力の体験（熊本県美里町）（P59）